

『探査レーダー』による海岸管理調査

空洞調査

路面下の空洞を調査する手法として、従来までは、ボーリングによる削孔により空洞を確認していた。しかし、この方法では、削孔した箇所ではしか空洞が確認出来ず、空洞の連続性を確認するために多くの削孔が必要となり、調査にかかる時間と費用が課題であった。

地中レーダー(電磁波)を搭載した探査車により空洞を調査することにより、全線における空洞箇所を短期に調査することが可能となる。また費用面でも、調査に削孔を伴わないため安価となる。



写真-歩道探査車



写真-ハンディ型地中レーダー

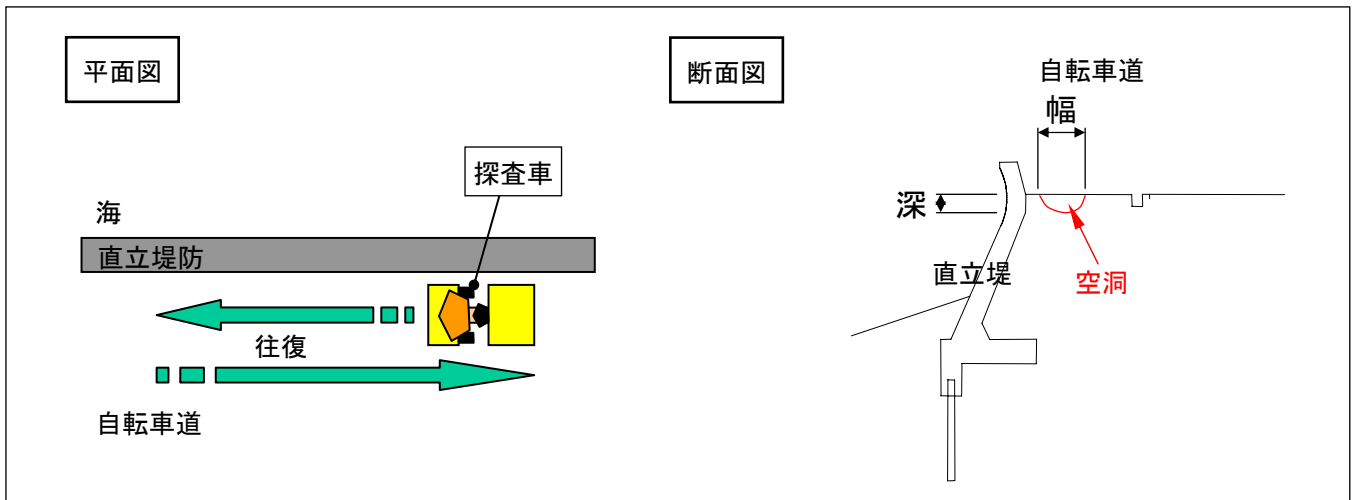
〔歩道探査車の機器諸元〕

- ・探査速度: 最高5km/h
- ・探査深度: 路面下1.5mまで
- ・探査幅: 1.0m(アンテナ3台)
- ・探査能力: 縦0.5m×横0.5m×厚0.1m以上の空洞
- ・調査内容: 延長12.2km×2(往復)
※橋梁部等除く

〔ハンディ型地中レーダーの機器諸元〕

- ・探査深度: 路面下1.5mまで
- ・探査能力: 縦0.5m×横0.5m×厚0.1m以上の空洞

空洞調査概略



石川海岸(直轄海岸工事施行区域) L=17,518m

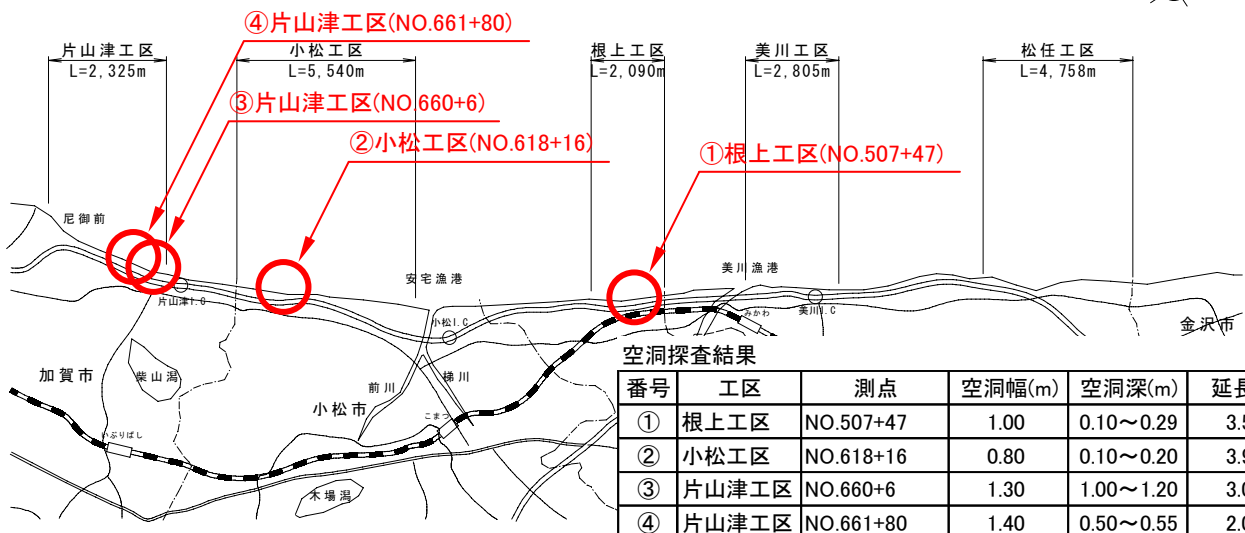


図-異常箇所位置図